

## 教科等横断型授業「化学基礎」×「美術」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(12番)「つくる責任、つかう責任」			
実社会での課題	天然資源である顔料の元となる鉱物は、世界的な需要により資源の枯渇問題に直面している。天然資源を持続的に管理し、効率よく使用するために、人工の絵具の生産とその活用が課題である。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力	天然資源の持続的な管理と効率的な使用に向けて、過去に行われていた取り組みから、持続可能な社会を実現するために必要なこと、これから自分たちができることについて考えさせる。			
主題(教材)	「神奈川沖浪裏 富嶽三十六景」に使用されたベルリンブルーの生成			
	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
指 導 入  展  過 開  程 整 理	・天然資源が枯渇問題に直面していることを理解する。	5	・天然資源における消費と資源枯渇の現状を知り、SDGsの課題との関連を考えさせる。	・電子黒板
	1 「神奈川沖浪裏 富嶽三十六景」の特徴をまとめる。 (説明：美術)	10	・葛飾北斎による「神奈川沖浪裏 富嶽三十六景」が描かれた時代背景を確認させる。 ・ベルリンブルーと天然資源であるラピスラズリを使用するウルトラマリブルーにおける時代背景を確認させる。	・ワークシート
	2 ベルリンブルーの生成方法をまとめる。 (説明：化学)	5	・試薬の扱い方と廃液の処理について確認させる。	
	3 ベルリンブルーを生成し、「神奈川沖浪裏 富嶽三十六景」の線画に着色し、発色を確認する。	20	・ウルトラマリブルーの発色と比較させる。	・ワークシート ・電子黒板
	4 「つかう責任」の視点から、廃液の処理を行う。	5	・人工の絵具の廃棄物の環境に配慮した管理について考えさせる。	
・天然資源の持続的な管理と効率的な使用に向けて、必要なことについて考える。	5	・持続可能な社会を実現するために、自分たちができることについて考えさせる。	・ワークシート	
備考				